

い場合は、補助の対象となりません。

Q 荒廃した山の整備に対する取り組みはどうか。

A 年間1千トンの間伐材や残材を利用する「木の駅プロジェクト」などを通して、一歩ずつですが進んできています。感じています。これからも研究を続けます。

Q 成東駅南側駅前広場整備事業に関して現在ある駐車場はなくなるのか。

A 道路の拡幅に伴い、駐車場はなくなります。その旨を広報等で周知したいと考えています。



経済建設常任委員会の審査の様子

予算審査特別委員会

平成26年第1回定例会第4日目において提案された、平成26年度各会計予算関係8議案について、越川哲委員長、本山英子副委員長とする議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、予算議案を審査することになりました。

予算審査特別委員会は、3月7日、10日及び12日の3日間開催され、市長、関係部長等から説明があり、慎重に審査されました。(審議結果)

- 議案第20号 (原案可決)
- 議案第21号 (原案可決)
- 議案第22号 (原案可決)
- 議案第23号 (原案可決)
- 議案第24号 (原案可決)
- 議案第25号 (原案可決)
- 議案第26号 (原案可決)
- 議案第27号 (原案可決)

特別委員会質疑要約

(総務部所管部分)

Q 臨時職員や非常勤職員の賃金は年間どれくらいか。

A 3億4千953万6千円ほどです。

Q 松尾地域賑わい空間創出事業は、内容やスケジュールに変更はないか。

A 内容のコンセプトは当初と変わらず、工期も予定通りに仕上げたいと思っています。

Q 防災啓発事業の内容容はどうか。

A 土砂災害警戒地域が定められたことによる、防災マップの改訂を予定しています。

(市民部所管部分)

Q 税金の滞納者に対する差押ええについて、生活実態等を把握したうえでやっているか。

A 納付資力がある滞納者に対し差押えを行うことにより生活困窮する恐れのある滞納者には行っておりません。

(経済環境部所管部分)

Q 電気自動車の充電器は急速充電器か普通充電器か。また、有料か。

A 急速充電器です。有料で使用いただく予定です。料金等はまだ検討中です。

Q エコノミックガバナリング推進事業の財源はどうか。また、予算内容はどのようなものか。

A 「がんばろう！千葉県」東日本大震災復興基金で全て賄います。予算内容は、事業内容周知のための講演などの講師報酬や、企業へのアンケート等の調査費用です。

Q 塩づくり伝承事業の成果や今後の展開はどうか。

A 海岸地域の小学校の生徒に、社会科授業で体験してもらっていますが、これを観光資源にしていくよう検討中です。また、今年度末を目標に、市観光協会を通じ

て生産販売ができるようにしていきます。

(教育部所管部分)

Q 小学校及び中学校の生活指導補助員とはどういうものか。

A 学習面や生活面で特に指導が必要な児童に対し、支援をする人員です。

Q 少年海外派遣支援事業について、希望者はなるべく派遣すべきではないか。

A できるだけ多くの児童を連れていけるよう、検討していきます。

Q ICTを活用した授業について、ワーキンググループはあるか。

A 平成24年12月に学校の情報化を進めるために推進会議を設置しました。平成25年度も継続して行われ、平成26年度も発展的に実施していきます。

(都市建設部所管部分)

Q 住宅居住環境推進事業の支給限度額を引き上げてはどうか。また、平成27年度以降も事業を継続してはどうか。

A 年度途中での金額の見直しは、支給済

の場合と比較して不公平感が出てしまいます。もとも期間限定の事業であったので、今後の継続については検討します。

(保健福祉部所管部分)

Q 日向学園台市有地管理事業の内容はどうか。

A 開発を行った日向学園台に隣接する斜面が、長期的に見ると砂が崩落していく可能性があるため、側溝により崩落を防止する措置をとりますが、その委託設計です。

Q 母子家庭自立支援給付金事業の内容はどうか。

A 母子家庭の母もしくはは父子家庭の父に対し、能力開発を支援するもので、教育訓練講座等を受講した場合に給付します。

Q おおひらこども園の施設整備事業に空港関係の補助金等は使えないのか。

A おおひらこども園は今後の計画など、不確定な部分があるため、補助金を用いられません。